



すべての利用者様が 「役割」を担い、いきいき暮らす

～認知症になっても出来ることはたくさんあります～

社会福祉法人 サン・ビジョン

グループホーム グレイスフル箕輪

(長野県)



"Sun" Social Welfare Group

社会福祉邦人 サン・ビジョン



"Sun" Social Welfare Group

愛知・岐阜・長野県下で
39施設、155事業所を展開

。

施設紹介

グループホーム グレイスフル箕輪

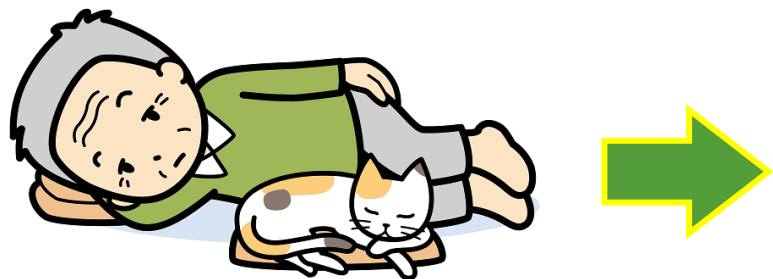
- ☆定員 18名 2ユニット
- ☆最高年齢 96歳
- ☆最低年齢 77歳
- ☆平均年齢 88歳
- ☆職員数 介護職員13名
- ☆ユニット名
- 平成13年開所ユニット「赤そば」
- 平成17年開所ユニット「やまぶき」



"Sun" Social Welfare Group

取り組んだ課題

- ・コロナウイルス感染予防対策のため、利用者様の活動量が減少してしまった。



認知症の進行

身体的機能低下

取り組んだ課題

認知症の進行・身体的機能低下



毎回、同じ活動を促す



活動量の増加、職員の業務負担の軽減

自立度が高い方に活動が偏っており、介護度が高い方の活動が少ない状態に。

具体的な取り組み

役割のポイント：①かつてやってきたこと
②今でもできること
③周りから認められること

これらに注目して、それぞれの利用者様が得意なこと、好きなこと、自信のあることは何か？また、苦手なこと、出来ないこと、嫌なことは何か？を職員全員にアンケート調査し、把握する

具体的な取り組み

利用者様	介護度	得意なこと、好きなこと、自信のあること	苦手なこと、出来ないこと、嫌なこと
K.S様	要介護 ₁	世話好き、人当たりが良い、歌、掃除、台拭き、モップがけ、困っている人を助ける、拭き掃除	多人数と一緒に仕事、着替え、食器洗い、時々けんかになる
K.S様	要介護 ₁	色塗り、力仕事、縫い物、食事の手伝い、家事全般、フルーツをきるのが上手	口調がきつくなる、短期記憶が続かない
T.Y様	要介護 ₁	座ってできる家事、上手に人を喜ばせる	立ち仕事（立位不安定）、ルールに反したことに厳しい
H.F様	要介護 ₁	丁寧な性格（きちんとやりたい）、食事の手伝い（野菜を切る、盛り付ける、食器洗い）	恥ずかしがり屋、人前で目立ちたくない、歌うこと
N.K様	要介護 ₂	手先の仕事、歌うこと、食事の手伝い（野菜を切る、盛り付ける、食器洗い）	身体を動かすこと（体操）
T.S様	要介護 ₂	花が好き、書くこと、花の水やり、花をいける、歌が好き、茶道、日本舞踊の経験あり	整理整頓
T.S様	要介護 ₂	ごみ捨てで外に出るのが楽しみ、おしぼり・洗濯物たたみ、水やり、野菜の収穫	他者とのコミュニケーション、丁寧に行うこと
N.S様	要介護 ₃	おしぼり作り、盛り付け、挨拶、本が好き	寝起きが悪い、次の行動に移るのに時間がかかる
K.F様	要介護 ₃	野菜を洗う 歌が好き、歌が上手、食器を拭く、にんじんの皮剥き	認知症の進行で指示が入らない、他者とのコミュニケーション、家事全般

具体的な取り組み

利用者様	介護度	得意なこと、好きなこと、自信のあること	苦手なこと、出来ないこと、嫌なこと
K.S様	要介護 ₁	世話好き、人当たりが良い、歌、掃除、台拭き、モップがけ、困っている人を助ける、拭き掃除	多人数と一緒にの仕事、着替え、食器洗い、時々けんかになる
K.S様	要介護 ₁	色塗り、力仕事、縫い物、食事の手伝い、家事全般、フルーツをきるのが上手	口調がきつくなる、短期記憶が続かない
T.Y様	要介護 ₁	座ってできる家事、上手に人を喜ばせる	立ち仕事（立位不安定）、ルールに反したことに厳しい
H.F様	要介護 ₁	丁寧な性格（きちんとやりたい）、食事の手伝い（野菜を切る、盛り付ける、食器洗い）	恥ずかしがり屋、人前で目立ちたくない、歌うこと
N.K様	要介護 ₂	手先の仕事、歌うこと、食事の手伝い（野菜を切る、盛り付ける、食器洗い）	身体を動かすこと（体操）
T.S様	要介護 ₂	花が好き、書くこと、花の水やり、花をいける、歌が好き、茶道、日本舞踊の経験あり	整理整頓
T.S様	要介護 ₂	ごみ捨てで外に出るのが楽しみ、おしぼり・洗濯物たたみ、水やり、野菜の収穫	他者とのコミュニケーション、丁寧に行うこと
N.S様	要介護 ₃	おしぼり作り、盛り付け、挨拶、本が好き	寝起きが悪い、次の行動に移るのに時間がかかる
K.F様	要介護 ₃	野菜を洗う 歌が好き、歌が上手、食器を拭く、にんじんの皮剥き	認知症の進行で指示が入らない、他者とのコミュニケーション、家事全般

現状把握②

取り組み前の活動参加率を調べる

作成日：R2.11.20 作成者：柴、酒井

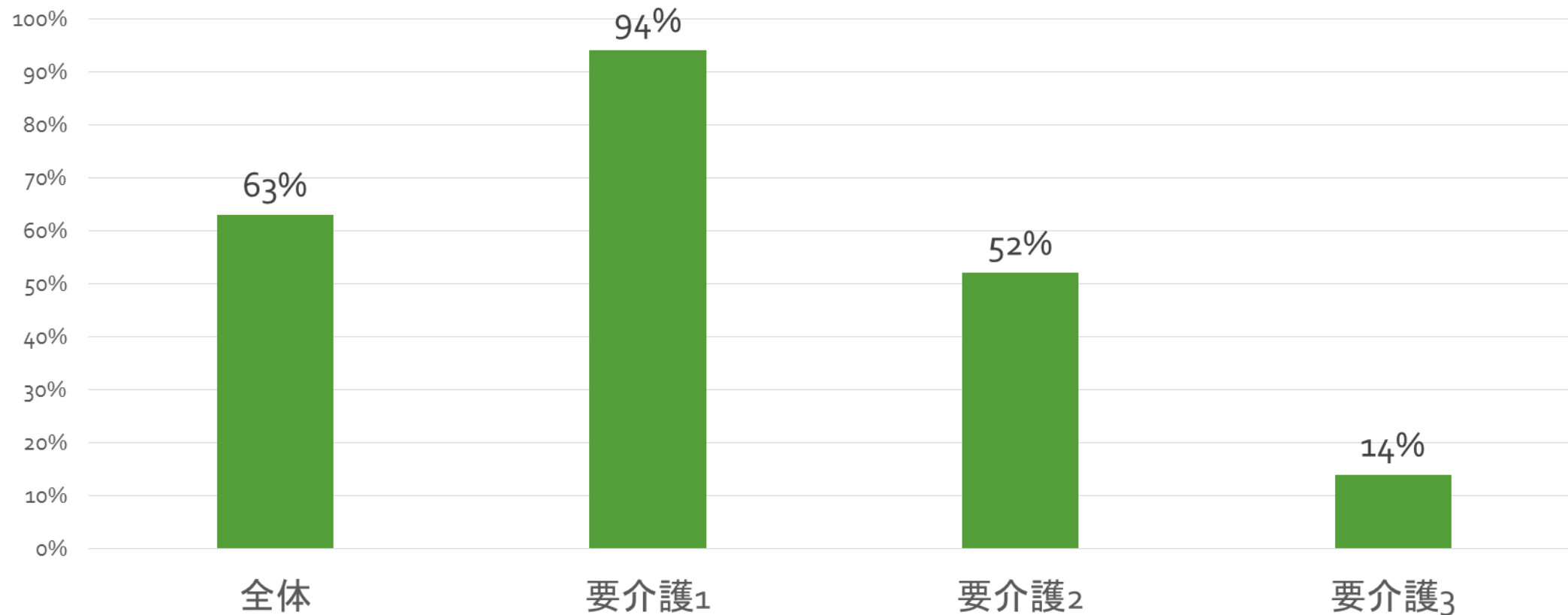
利用者様	介護度	参加率
K.S様	要介護 ₁	100%
K.S様	要介護 ₁	100%
T.Y様	要介護 ₁	93%
H.F様	要介護 ₁	93%
N.K様	要介護 ₂	100%
T.S様	要介護 ₂	100%
T.S様	要介護 ₂	57%
N.S様	要介護 ₃	14%
K.F様	要介護 ₃	0%

利用者様	介護度	参加率
I.H様	要介護 ₁	93%
E.M様	要介護 ₁	93%
H.K様	要介護 ₁	86%
M.M様	要介護 ₂	78%
K.T様	要介護 ₂	36%
M.N様	要介護 ₂	28%
G.A様	要介護 ₂	28%
S.T様	要介護 ₃	36%
W.M様	要介護 ₃	7%

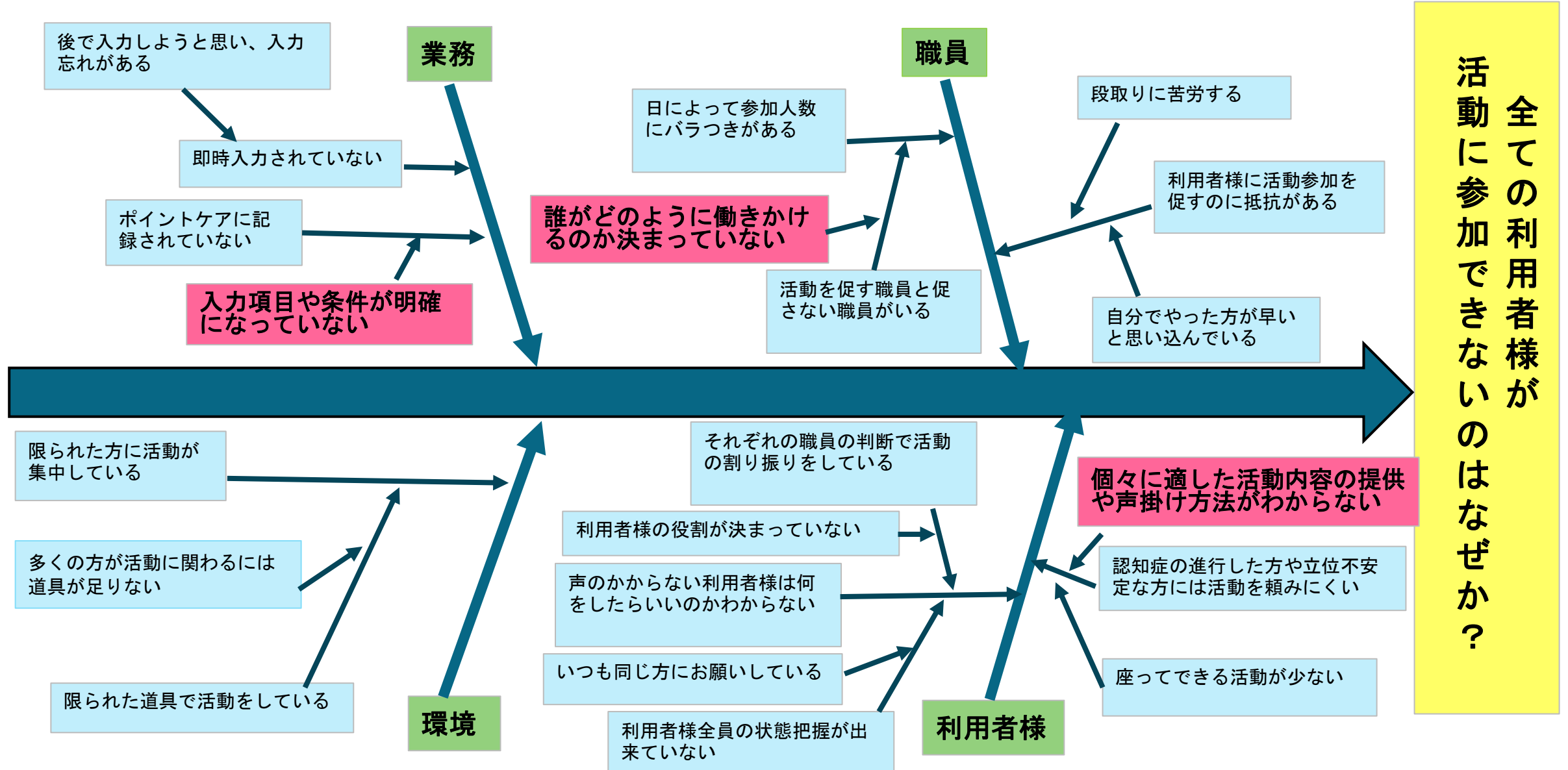
※11/1～11/14の調査期間で活動参加した日数÷調査日数×100＝参加率(%)として算出した

具体的な取り組み

介護度別参加率



要因解析



目標設定

- ① 全ての利用者様に「役割」を担ってもらう
100%
- ② 全ての利用者様が活動に参加する
本来100%を目指したいところであるが、
活動は強制する物ではない為、
平均80%以上とする

対策立案と実施

一時 要因	重要要因	対策案	いつ	どこ で	誰が	何を	どうする
利用者様	①個々に適した活動内容の提供や声掛け方法がわからない	「役割表」を作成し、積極的に活動を依頼していく	1/4から		全職員	「役割表」	作成し、見やすいところに掲示 全職員が確認しながら利用者様に活動を依頼する
業務	②ポイントケアの入力項目を明確にする	「役割表」を作成しポイントケアの入力先を明記する	12/31まで		全職員	ポイントケアの入力先を決めて「役割表」に記入した用紙	フロアに掲示し、利用者様の活動に応じてポイントケアに入力する
職員	③誰がどのように働きかけるのか決まっていない	活動を補助するお願いするときのルールを職員で共有する	12/28	GH 会議	出席職員	「役割」の実施について	話し合い、まとめ以後、全職員に共有する

具体的な取り組み

個々に適した活動内容の提供や声かけ方法がわからない

➡利用者様1人1人に適した役割を役割表にまとめ、可視化して共有し、積極的にお願いしていく

具体的な取り組み 役割表作成、掲示

		具 体 的 方 法					
利用 者様 名	役 割	いつ	どこで	誰が	どう願いますか	ポイントケア入力先	
K・S 様	①台拭き	食後	台所、食堂	フロア職員、自主的	台拭きをお渡して御願をする。	家事参加	
	②洗濯物たたみ	起床時	フロア	夜勤職員	洗濯後の入浴タオル類を起床時にたたんで頂く	洗濯干し・たたみ	
K・F 様	①味見	食事の準備時	台所	食事担当職員	調理したものを味見して頂く。	その他・軽作業	
	②BGMに歌を歌う	食事の準備時	食堂	食事担当職員	好きな歌を歌っていただく	その他・軽作業	
K・S 様	①食事の準備	食事の準備時	台所	食事担当職員	お願いを口頭でお伝えする	家事参加	
	②食器洗い	毎食後	台所	自主的	食器を洗って頂く	家事参加	
利用者様名		役割		いつ	どこで	誰が	どう願いますか
N. S様		①朝の挨拶		朝食前	食堂	早番職員	原稿を渡す
		②おしぼり作り		毎食前	食堂	食事担当職員	絞ったおしぼりを持っていき巻いていただく
T・Y 様	③観葉植物の水やり	気づいた時	フロア	気付いた職員	霧吹きで水をかけてもらう		
	①ゼリーの盛り付け	朝食後	食堂	早番	ゼリーと器を席まで持っていく		家事参加
	②翌日の献立表示	夕食後	食堂	遅番か夜勤職員	ホワイトボードとカードを渡す。		その他・軽作業

具体的な取り組み

ポイントケア(記録)の入力項目や条件が明確になっていない

➡ポイントケア(記録)の入力先を役割表に明記し、明確にする

また、入力条件を役割を行なう意思が見られた時とする

具体的な取り組み 役割表に記録の入力先を加える

利用者の氏名	役割	時間	場所	誰が	どのような方法で	入力先
I・H様	①モップかけ	起床後	廊下、フロア	自主的	モップかけをしてもらう	掃除参加
	②食事の準備	食事の準備時	台所	自主的	お願いを口頭でお伝えする	家事参加
	③新聞たたみ	気づいた時	食堂	気付いた職員	新聞紙をテーブルに準備する	その他・軽作業
E・M様	①食事の準備	食事の準備時	台所	食事担当職員	お願いを口頭でお伝えする	家事参加
	②もやしの根とり	夕食準備	ソファ席	自主的	料理にもやしを使うことを伝える	家事参加
	③朝のおしぼり作り	起床後	ソファ席	自主的	乾いたおしぼりを置いておく	洗濯干し・たたみ
K・T様	①翌日の献立表示	夕食後	食堂	遅番か夜勤職員	ホワイトボードとカードを渡す	その他・軽作業
	②野菜の皮むき	食事の準備時	食堂	食事担当職員	野菜と皮むきを持っていく	家事参加
G・A様	①洗濯物たたみ	起床時	フロア	夜勤職員	洗濯後の入浴タオル類を起床時にたたんで頂く	洗濯干し・たたみ
	②カウンターの台拭き	毎食後	カウンター	食事担当職員	台ふきを渡し、カウンターの台拭きをお願いする。	家事参加
S・T様	①朝のあいさつ	朝食前	食堂	早番	原稿を渡す	その他・軽作業
	②新聞たたみ	気づいた時	食堂	食事担当職員	新聞紙をテーブルに準備する	その他・軽作業
	③おしぼり作り	昼夕食の準備時	食堂	食事担当職員	しぼったおしぼりを巻いていただく	洗濯干し・たたみ
	①ゴミ出し	朝食前、夕方	ゴミステーション	夜勤職員、早番職員	ゴミをのせた台車を押してもらう	その他・軽作業

具体的な取り組み

誰がどのように働きかけるのか決まってい
ない

➡ 誰がは、役割表にいつ、どこで、誰が、どう
お願いするかを明記し、
働きかけ方は 「役割を補助するお願いする
ときのルール」を作り、全職員で共有する

具体的な取り組み 役割をお願いする時のルール

- ① 役割は、積極的にお願いする活動です。それ以外の活動もどんどんお願いしてください。
- ② 利用者様の体調の悪い時、不穏状態など精神状態の悪い時に役割を無理にお願いする必要はありません。
- ③ 役割を行ってくださった時には、オーバーなくらいに感謝を伝えてください。身振り手振りを加えるのも良いです。
- ④ ポイントケアの入力を必ずお願いします。うまくできていなくても、活動をする意思が見られたときに、ポイントケアに入力してください。
- ⑤ 利用者様の反応をつぶやきなどに残し、役割の改善や追加に役立てましょう。

実施の様子



N. S様 朝の挨拶



ユニット1 夕食の片付け



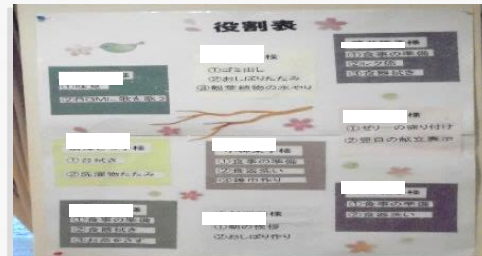
I. H様 モップ掛け



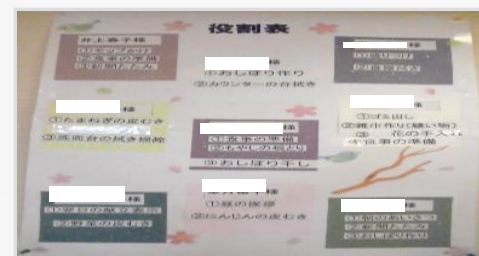
K. F様 料理の味見



T. S様 水やり



ユニット1 役割表



ユニット2 役割表



K. T様 翌日の献立表示



E. M様 朝食の片付け



H. K様 ゴミ捨て



W. M様 流しの掃除



K. S様 洗濯物たたみ

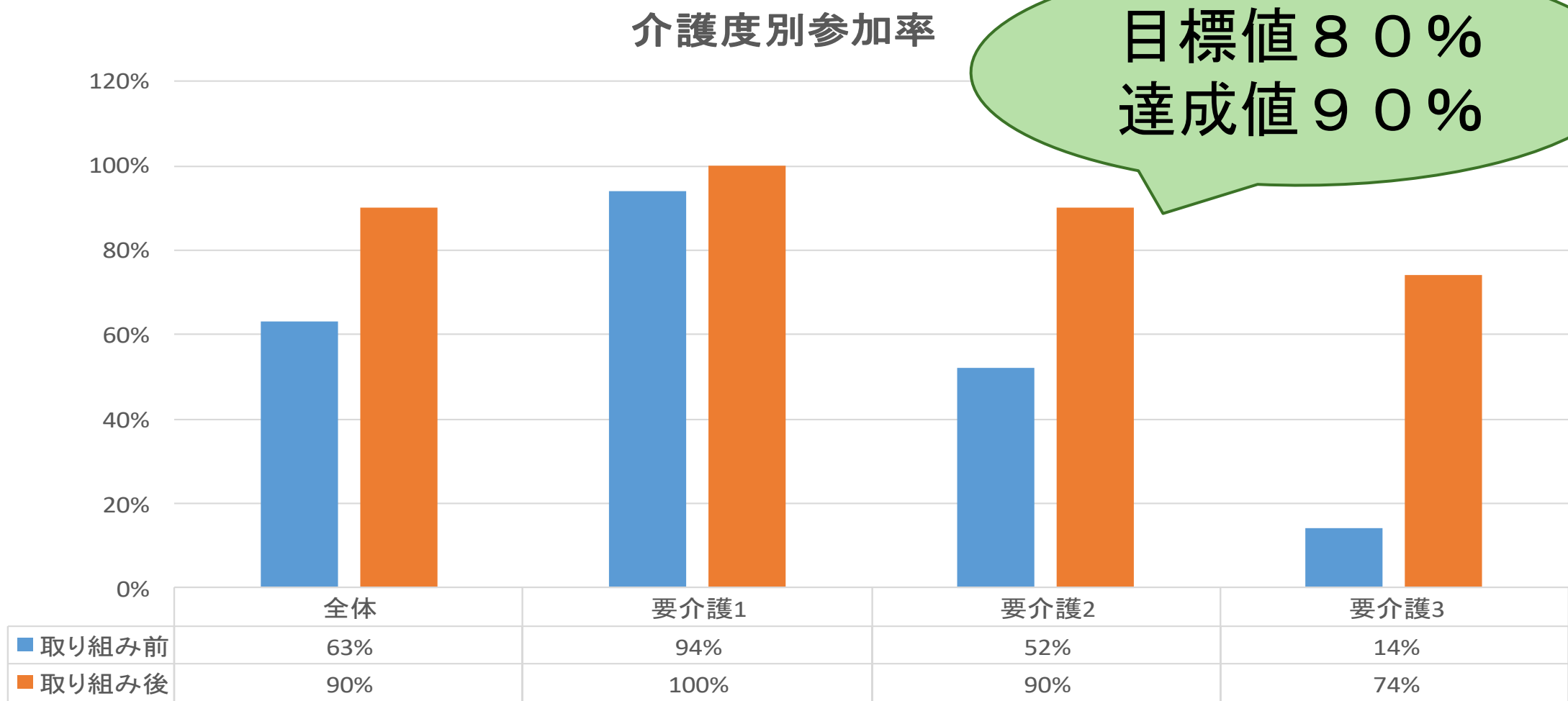
活動の成果

取り組み後の活動参加率を調べる

利用者様	介護度	取り組み前	取り組み後	利用者様	介護度	取り組み前	取り組み後
K.S様	要介護 ₁	100%	100%	I.H様	要介護 ₁	93%	100%
K.S様	要介護 ₁	100%	100%	E.M様	要介護 ₁	93%	100%
T.Y様	要介護 ₁	93%	100%	H.K様	要介護 ₁	86%	100%
H.F様	要介護 ₁	93%	100%	M.M様	要介護 ₂	78%	92%
N.K様	要介護 ₂	100%	100%	K.T様	要介護 ₂	36%	92%
T.S様	要介護 ₂	100%	100%	M.N様	要介護 ₂	28%	78%
T.S様	要介護 ₂	57%	100%	G.A様	要介護 ₂	28%	71%
N.S様	要介護 ₃	14%	100%	S.T様	要介護 ₃	36%	64%
K.F様	要介護 ₃	0%	78%	W.M様	要介護 ₃	7%	57%

※1/4～1/17の調査期間で活動参加した日数÷調査日数×100＝参加率(%)として算出した

活動の成果（取り組み前後の活動参加率の比較）



活動の成果

- ①全ての利用者様に「役割」を担ってもらう
→役割表を作成し依頼することで

100%達成

- ②全ての利用者様が活動に参加する
→目標平均80%に対し、90%の参加をしていた
だったので

目標達成率は100.58%

現状改善率は99.57%

有形効果

役割実施率平均95%

作成日：R3.1.20作成者：小松

利用者様	実施の様子	役割実施率	継続・検討
K.S様	声かけで行う	100%	継続
K.S様	声かけで行う	100%	継続
T.Y様	声かけで行う	100%	継続
H.F様	声かけで行う	100%	継続
N.K様	声かけで行う	100%	継続
T.S様	レク係り恥ずかしい	100%	検討
T.S様	声かけで行う	100%	継続
N.S様	声かけで行う	100%	継続
K.F様	理解できない時もあり	92%	継続

利用者様	実施の様子	役割実施率	継続・検討
I.H様	自主的に行う	100%	継続
E.M様	自主的に行う	100%	継続
H.K様	毎日できる役割がない	100%	検討
M.M様	声かけで行う	100%	継続
K.T様	声かけで行う	100%	継続
M.N様	声かけで行う	85%	継続
G.A様	理解できない時もあり	74%	継続
S.T様	声かけで行う	92%	継続
W.M様	理解できない時もあり	78%	検討

※1/4～1/17の調査期間で役割参加した日数÷調査日数×100＝実施率(%)として算出した

無形効果

利用者様の様子

- ・自主的に役割を行えるようになった方がいる
- ・他の活動も積極的にやってくれるようになった
- ・よく台所に利用者様が来てくれるようになった
- ・感謝の言葉にとっても嬉しそうな表情をされる
- ・イキイキしているように感じる



職員の反応

- ・どの方に何を頼もうか悩むことが減った
- ・介護度の高い方にも、お願いするようになった
- ・感謝をもっときちんと伝えようと思った
- ・業務の負担が減った

波及効果

利用者様の変化

- ・自信が持てるようになった
- ・活動に進んで取り組まれるようになった
- ・毎日実施することで作業スピードが上がった
- ・雰囲気明るくなった
- ・生活にメリハリがついた

職員の变化

- ・出来ないと思っていた方が実は出来る
と知ることができた
- ・会話のきっかけが生まれた
- ・「あれはできるかな？」と役割以外の事
もやってもらったりした
- ・もっと出来ることがあるのではないかと
考えるようになった



標準化と定着

内容	いつ	どこで	誰が	どうする
適さない役割の改善	申し送り時	ラウンジ	申し送り参加職員	役割の変更、アプローチ方法を検討する
業務標準としての定着	随時	ポイントケア	ハウスマネジャー・ケアマネジャー	ケアプランに反映する
管理の定着	月に1度	グループホーム会議	会議参加者	実施の確認と役割表の内容を検討ポイントケアの入力確認
管理の定着	毎日	フロア (役割表を見て)	担当職員	利用者様に活動参加をお願いする

まとめと反省

活動ステップ	評価	理由
テーマ選定	◎	利用者様に直接関係するテーマで取り組めた。
活動計画	○	若干予定と前後することはあったが、おおむね予定通りに活動できた。
現状把握	◎	全職員が関わり、協力しながらできた。
目標設定	◎	利用者様視点の目標値を設定できた。
要因解析	◎	主たる要因を特定できた。
対策の立案・実施	◎	職員で偏りが無く分担できた。
効果の確認	◎	目標値に対する結果だけでなく、利用者様の声から再度、対策を実施でき、より満足を得ることができた。
標準化と定着	○	今後も継続できる歯止めができた。

今後の課題

今後の課題	◎	入退所で新規利用者様が入所された際も、できる限り早くその方の役割と一緒に探せるよう、さらに職員のアセスメント力、積極性の向上を図っていく必要がある。
--------------	---	--

最後に...

理念

- ・地域とともに少子高齢社会を考え、安心で未来ある街づくりに貢献します。
- ・子どもの無限の可能性を引き出し個々のもつ力をはぐくみ、地域で育てる環境をつくれます。
- ・子どもの優しい心、豊かな心、強い心を育てます。
- ・**高齢者がもてる力を発揮して、自信と幸福を感じられる生活を支援します。**
- ・高齢者の尊厳と自己決定を尊重し、一人一人のライフスタイルを支援します。
- ・職員がプロフェッショナルとして喜びと誇りをもち、自ら改革する力をもてるよう育成します。
- ・法律その他基準に従って、常に組織・運営を見直します。
- ・地域社会の変化と改革の先駆者となります。
- ・社会福祉制度のセーフティネットとしての役割を果たします。
- ・地域社会の一員として、また地球市民として、環境に優しい業務運営に努めます。

- ・高齢者がもてる力を発揮して、自信と幸福を感じられる生活を支援します。

グループホーム＝認知症対応型共同生活介護

利用者様が主体の共同生活を...



ご清聴ありがとうございました

